

# 高性能焼却炉を展示

## DAITO 製品の魅力をアピール



展示される焼却炉

DAITO井上滋樹 届出不要の焼却炉を並べ、製品の魅力をアピールした。

社長、愛知県瀬戸市は、8月25日、26日に行われた第75回岩手県全国農業機械実演展示会で、主力製品である焼却炉を展示。中小企業経営強化税の税制優遇措置対象商品であり構造基準適合・4月から「廃棄物の処理

及び清掃に関する法律」で原則として禁止に取締まりも厳しくなっていることから同社の焼却炉が注目を集めている。同社は自前の燃焼技術を生かし、数々の焼却炉を世に送り出し、広く社会の環境整備に貢献してきた。顧客のごみの質・量・立地条件に合わせ、スタンダードモデルからプレミアムモデルまで多彩な機種をラインナップ。会場には高性能で耐火材式のSPⅡと高性能且つ大型投入口で耐火材式のSPZを展示。

社従来モデルに比べ①燃焼用エアのバランスをとり直し、最適な燃焼を実現②Wカット集じん室の採用により消煙とばいじんを削減③鋼板の厚さ、耐火材壁の厚さを厚くすることで、耐久性をアップ④脚部や扉ヒンジ部への補強鋼材を用いることで強度アップ⑤新型扉の採用で、本体と隙間から出る未燃焼ガスを大幅にカット⑥ターマインにより、焼却後の冷却運転を行うことで、バーナー等の機器を保護⑦制御盤により、炉内の温度を計測表示し、バーナーのON・OFF自動制御をすることで、温度管理を省力化、など。

新製品のISRモデルは①大きな投入口で大きな廃プラスチックが投入可能②ロストル装備で高い燃焼効率を維持する③水冷式なので、長時間の安定燃焼が可能④サイクロン集じんにより、高い

両モデルの特長は、同

認して欲しいと話した。